

メリケン トキンソウ

ご注意ください！



■ メリケントキンソウとは？

- 高さ5 cm程度の外来植物。
- 繁殖力が旺盛。
- 公園やグラウンド、道端で繁殖する。
- 果実に鋭いトゲをもつ。
- トゲが鞋底等に刺さることで種子が運ばれ、分布が広がる。

メリケントキンソウがひとたび大繁殖してしまうと、根絶することは困難になります。

早期発見・早期対応が大切です。

メリケントキンソウのライフサイクル



メリケントキンソウ Q&A

Q メリケントキンソウの何が問題なの？

A 果実にとっても鋭いトゲをつけるため、トゲが刺さってケガをする恐れがあります。グラウンドに繁殖したメリケントキンソウが原因で、サッカー大会の会場が変更された事例もあります。また、繁殖力旺盛であるため、ひとたび大繁殖すると駆除が難しくなります。

Q メリケントキンソウの繁殖場所とは？

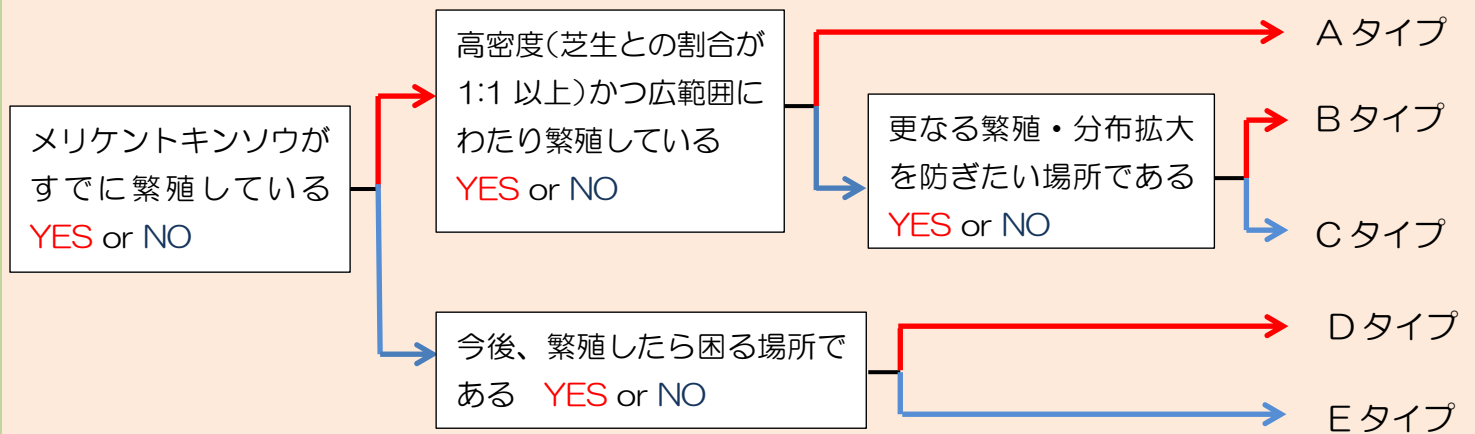
A 公園やグラウンドの芝生の中でよく見られます。ライフサイクルを見て分かるように、メリケントキンソウは、芝生が枯れる時期に青々と茂り、芝生が青々としている時期に枯れます。そのため、よく目立ち、比較的簡単に見つけることができます。

Q 愛知県での繁殖状況は？

A 5年前に繁殖が確認されていたのは、尾張地域の2地点のみでした。しかし、2017年12月時点では、少なくとも19地点で繁殖が確認されています。尾張地域だけでなく、東三河地域でも繁殖が確認されており、着々と分布が拡大しているようです。

チャートを参考に、現状や目的に合わせた対策を始めましょう！

メリケントキンソウ対策チャート



Aタイプ	根絶することは困難ですが、これ以上 種子を広げないための対策 を実施しましょう。キク科のみを枯らす除草剤の使用も手ですが、芝生の管理をしない限り、直ちに再繁殖すると思われます。
Bタイプ	現在繁殖しているメリケントキンソウを駆除しましょう。広範囲でなければ、 手取りでの駆除 も有効です。駆除後は、 芝生の管理 を徹底しましょう。併せて、種子を広げないための対策も実施しましょう。
Cタイプ	これ以上 種子を広げないための対策 を実施し、メリケントキンソウが繁殖したら困る場所への侵入を防ぎましょう。
Dタイプ	芝生の管理 を徹底し、メリケントキンソウの侵入を防ぎましょう。また、早期発見できるよう、定期的に観察しましょう。
Eタイプ	とりあえずは大丈夫です。今後、メリケントキンソウの繁殖が確認されたら、これ以上種子を広げないための対策を実施しましょう。

○芝生の管理について

芝生を適切に管理し密度が高い状態を維持することで、メリケントキンソウを「入れない」環境をつくることができます。具体的には、**施肥と刈り込み**が非常に重要です。芝生を維持するためには、年間 20～60g/㎡の窒素分が必要とされています。また、刈高は 5cm 程度を維持することが望めます。

逆に、芝生がスカスカの状態では、いくら駆除しても再繁殖してしまいます。

○メリケントキンソウの手取りについて

トゲのない時期（9月～3月）が適しています。道具は一般的な草抜きでも良いですが、**魚の骨抜き**を使うと、芝生を傷めずに抜くことが可能です。

○種子を広げないための対策について

可能であればメリケントキンソウが繁殖している場所を隔離し、立ち入ることができないようにしましょう。それが難しい場合は、利用者の方に靴に刺さった種子を落としてもらう必要があります。**看板等を設置**し、注意喚起しましょう。付近にマットを設置すると、より気を付けて種子を落としてもらえます。

また、靴底だけでなく、草刈り機のタイヤ等にもトゲは刺さるので注意が必要です。



魚の骨抜き

メリケントキンソウだけを抜くことができる



種子を落とすマット

毛足が長く硬いものが望ましい

看板の例

メリケントキンソウに

ご注意ください！

○4月～7月に鋭いトゲをつけます。裸足で歩いたり手をついたりすると、トゲが刺さって危険です。

○メリケントキンソウは外来植物です。靴底に刺さった種子は落として、外に拡げないようにしましょう。



環境部自然環境課

野生生物・鳥獣グループ

〒460-8512 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL 052-954-6230 (ダイヤルイン)

〈内容作成〉東三河総局県民環境部環境保全課